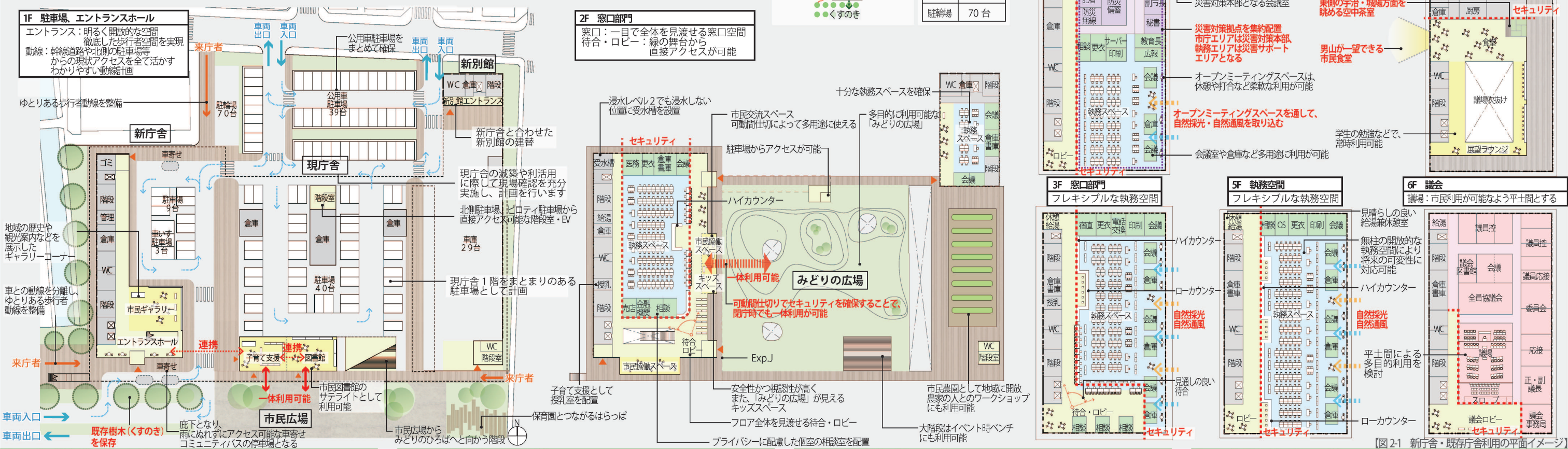


市民が使いやすく、職員が働きやすい、柔軟性のあるコンパクト庁舎

新しい市庁舎は、現庁舎の「市民の訪れやすさ」を継承することを目指し、よりコンパクトな計画とすることで、市民ニーズの変化、行政サービスの高度化・細やかさにも柔軟に対応できる、「使いやすく、働きやすい庁舎」とします。



テーマ②【利便性の高い庁舎】 敷地の空間特性を活かした配置計画

①くすのき並木とみどりの広場を実現する配置計画 ④独自提案

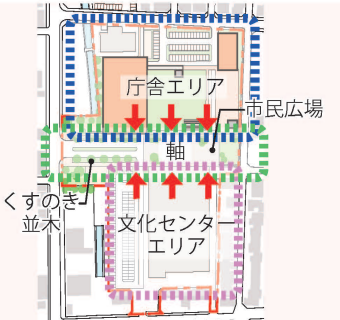
- 新庁舎は、30m の高さ制限を最大限に活用し、現庁舎の西側にコンパクトに配置することで、既存のくすのき並木の保存を実現します。
- 現庁舎の建物ラインと新庁舎の建物ラインを統一することで、つながりを持たせ、みどりの広場と一体感のある新庁舎計画を実現します。

ボリューム	7層		6層(基本計画B案)	
	(断面)	(平面)	(断面)	(平面)
フロア面積	約 1900 m ²		約 2400 m ²	
現庁舎との関係性	建物ラインが揃う		現庁舎に掛らない	
くすのき並木	保存		伐採	
文化センターとの関係性	既存配置と同じ関係		既存の関係性が崩れる	
執務エリア	長さ 60m 移動距離が短く、連携がとりやすい		長さ 80m 移動距離が長く、連携がとりにくい	
環境負荷	外壁面積が小さい		外壁面積が大きい	
工事費	仮設養生、掘削面積が小さい		仮設養生、掘削面積が大きい	

【図 2-2 配置計画比較表】

②屋内外一体空間を実現するマスタープラン ④独自提案

- 現在の敷地景観を形成する、くすのき並木と市民広場を結ぶ軸線を継承します。
- 庁舎エリアと文化センターエリアが、軸線に対して正面性をもつ配置計画とすることで、屋内外空間が一体となる「やわたプレイス」を実現します。



【図 2-3 配置マスタープランイメージ】

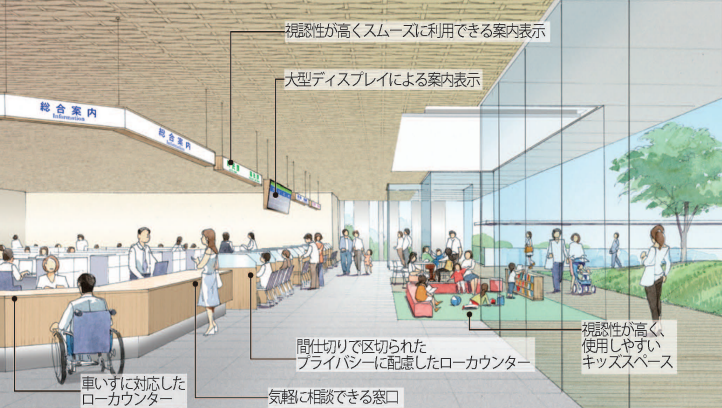
テーマ②【利便性の高い庁舎】 市民が安心して利用できる市民サービス

①市民利用やプライバシーに配慮した窓口配置

- 総合窓口は2階として、利便性を高めます。各階共に見通しの良い待合と、わかりやすい窓口スペースにします。
- 2階は既存庁舎を改修した「みどりの広場」とつながる、潤いと広がりを持った快適な待合とします。
- ブース型カウンターや相談室を充実させ、市民が気軽に相談に訪れやすく、個別対応しやすくします。

②すべての人にやさしいユニバーサルデザイン

- 総合案内板、窓口誘導サイン等は大きめにデザインし、行きたい所が一目でわかる計画とします。
- 親子連れの来庁者に配慮し、キッズスペースや授乳室を窓口からわかりやすい、利用しやすい場所に配置します。
- 高齢者や肢体不自由者が安心して利用できるよう、広めのトイレ、だれでもトイレを各階に設置します。



【図 2-4 屋上広場とつながる窓口空間イメージ】

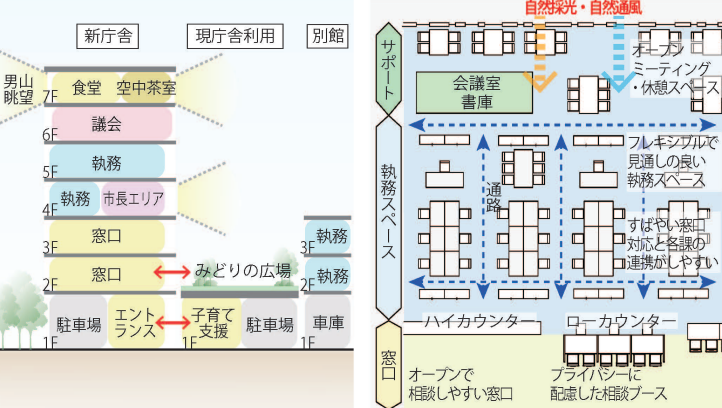
テーマ②【利便性の高い庁舎】 職員が働きやすい執務環境

①各部署が連携しやすい明快な階構成

- 1階はエントランス、駐車場、2・3階は来庁者の多い窓口を集約します。4・5階に行政執行部門を集約し、災害時の本部機能となる市長エリアは窓口に近い4階とします。6階は独立性の高い議会、7階は市民食堂とします。
- 階毎に機能を集約することで、横移動や上下階移動も少なく、連携が図りやすいため、業務効率を高めます。

②将来改変にも対応可能な効率的な執務フロア

- コアを西側にまとめて西日抑制を図り、安定した環境で、まとまりのある整形な執務空間を確保します。
- 将来の組織改変や職員数の増減、分庁舎解体時の人員分の執務スペースも確保し、柔軟に対応可能とします。
- 窓口、執務空間、サポートスペース（会議・打合せコーナー等）を明快に構成し、効率的な業務を実現します。



【図 2-5 断面イメージ】

テーマ②【利便性の高い庁舎】 市民と職員が居心地の良い庁舎

①職員が働きやすい環境 ④独自提案

- 季節に応じた温湿度管理、個別空調のパーソナル制御などで、議員や職員の満足度を高め、業務に専念できる快適環境を提供します。

②市民が訪れ、滞在したくなる環境 ④独自提案

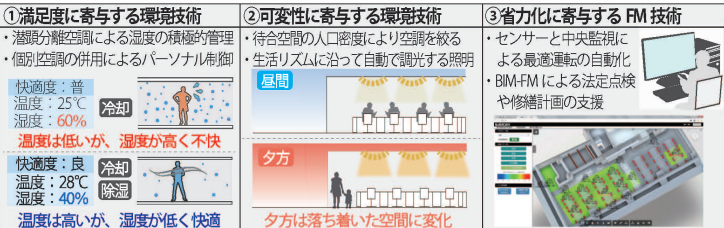
- 市民の多いスペースの空調や照明制御は、人々の活動に沿って変化する、居心地のよい環境をつくります。

③日常の手間や無駄を省く運用サポート ④独自提案

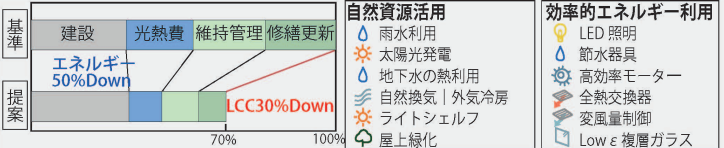
- 庁舎管理の集中化・自動化と、BIM-FM による計画的修繕支援などにより、永く品質を保つ工夫をします。

④運用コスト・ライフサイクルコスト(LCC)縮減の提案 ④独自提案

- 自然資源や効率的なエネルギー活用により、光熱水費を50%、地下なし、階高抑制等の建設費低減をはじめとして、LCCを30%削減し、ZEB Ready 庁舎を目指します。



【図 2-7 具体的な環境技術提案】



【図 2-8 LCC】

【図 2-9 主な運用コスト削減技術】